
 学 会 記 事

第 4 回新潟クリニカルパスフォーラム

日 時 平成 17 年 7 月 16 日 (土)
午後 2 時～
会 場 新潟グランドホテル 3 階
「悠久の間」

I. 一 般 演 題

 1 ① 当院救急外来における観察入院の現状
— 観察入院における
クリニカルパス導入をふまえて —

飯沼 泰史・宮島 衛
新潟市民病院救命救急センター

 ② 観察入院患者に対する
クリニカルパスの導入
— 導入 4 ヶ月を経過して —

荻間 久美・石井 晶子・林 文
小野 睦美・菅井美佐子・平田美佐子
新潟市民病院救命救急センター

2 当院のクリニカルパス開発のあゆみ

山本 睦生
新潟市民病院クリニカルパス委員会

 3 1 泊 2 日入院指示簿から
診断群別クリニカルパスへ

渡辺 薫
新潟医療生協木戸病院 第 5 病棟

 4 人工股関節全置換術パスの
日めくりパス作成にむけて

朝比奈紋子・今井恒志郎・熊倉 梓
野沢 千絵・芋川美樹子・佐藤佑季子
医療法人愛仁会 亀田第一病院

 5 THA に対する
早期荷重クリニカルパスの解析

徳永 邦彦・遠藤 直人
大島多恵子*・佐藤千代子*・廣川佐代子*
新潟大学大学院医歯学総合研究科・
機能再建医学講座・整形外科科学分野
新潟大学医歯学総合病院・西館 7 階病棟*

【目的】従来の診療内容を改良した THA の 2 次クリニカルパス (CP) と、2 次 CP の問題点を改良した早期荷重 CP を使用した症例の中間アウトカムとバリエーションを比較検討した。さらに、早期荷重 CP を使用した症例について患者満足度を調査した。

【対象・方法】2 次 CP 群 32 関節 (平均 59.6 歳) と早期荷重 CP 群 23 関節 (平均 62.4 歳) を対象とした。早期荷重 CP は指示票と看護記録を一体化し、入院期間を約 2 週間に設定した。2 次 CP と早期荷重 CP 間で中間アウトカムを比較し、早期荷重 CP についてはバリエーション解析とピッカーの患者満足度調査票を用いた満足度調査を施行した。

【結果】2 次 CP に比べ早期荷重 CP では中間アウトカム 8 項目の全てが短縮され、バリエーションも少なかった。満足度調査では「患者の価値観、意向、ニーズの尊重」「心情的支援と恐怖、不安の緩和」のカテゴリーで不満が多かった。

【考察】早期荷重 CP は、中間アウトカムが短縮され、バリエーションも少ない完成度の高い CP と思われた。満足度の低かった内容の原因は、患者と医療者のイメージする入院経過にギャップであり、短期間で退院するプログラムをイメージできるように視覚に訴える媒体を用いた患者教育が必要である。